

事例4：TSK株式会社（新たなサービス・商品群の立ち上げに伴う、知財戦略構築）

ブランディング強化

知的財産情報活用

契約

■ 知的財産経営実践の概要

解決
したい
課題

各種サービス・製品のブランディング方策等を整理したい

- 包装設計の業務を拡大する中で、様々な製品が開発され、物流改善提案（KAIZEN）のメニューが充実してきた
- 各種サービス・商品のネーミング・ロゴが増えてきたので、ブランドを整理したい。今後も継続的に製品開発を成功させていきたい

専門家によるハンズオン支援

ハンズ
オン
支援

「KAIZEN」に関するブランディングの活動企画と、ブランドの保護・基盤形成に繋がる知財活動を検討する訪問支援：3回

- ブランディングを体系的に把握し、取り組み余地のある事項を議論。
- 今後の新製品開発に向けた、特許調査の方法を助言
- 秘密保持・共同開発等の契約におけるポイントを助言

結果
・
成果

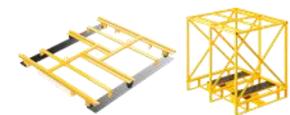
ブランド階層の議論が前進しインナーの取り組みにも着手。開発の本格実施に備えた注意事項を把握

今後の取組課題

- ✓ 事業内容の広がりや新製品リリースに伴い、追加で求められるブランディングに対応する
- ✓ 開発が本格的に始動する際には、先行技術調査や、ポイントを押さえた契約を心がける

■ 取組の詳細

- 組織体制や、事業戦略・製品戦略・ブランディング活動の「現状」や「方針」を把握した。
- 様々なブランディングの取り組みを既に実施してきている中、ブランド階層や、ブランド構築ステップに関する理論的な整理も参照することで、既存の取り組みの位置づけを確認しつつ、取り組み余地がある事項の抽出や、将来的に求められそうなブランド施策の議論を実施した。
- 顧客向けのブランディングだけでなく、社員・採用・地域といった仲間に対するブランディングも議論した。
- 新製品の開発を効率的に進めつつ開発確度も高めるために、データベースを用いた先行技術調査の方法の概要について理解を得た。
- 今後、外部連携を伴う開発が生じる可能性に備え、内部体制面・契約面（NDA・共同開発契約）で注意すべきポイントについて理解を得た。



■ 企業の声

今回ご支援いただくことで、ブランディングの取り組みを体系的にまとめなおすことができ、取り組みを整理することができた。その中で、顧客とのタッチポイントと社内のインナーブランディングの観点で足りない部分も把握することができ、今後の取り組み課題も明確化することができた。加えて、知財まわりの技術調査や共同開発契約の注意点を先行して把握することができた。

■ 企業概要

業種	製造業（物流包装サービス）				
住所	富山県富山市	URL	https://tsk-corp.jp/		
創業	1974年7月	従業員数	118人	資本金	5,000万円

■ 支援専門家（回数）

支援コーディネータ
弁理士（3）
同行専門家
デザインプロデューサー
（2）